

成する作品の種類（旗ものか袋ものか）、和紙に描く作品、旗ものの並べ方、形、デザインについてあらかじめ準備した。

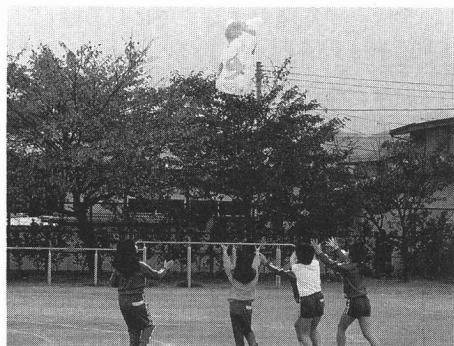
次に、自己決定の場として、どの班に所属するかかの決定やどんな絵を書くかを考えさせた。

班構成は、目的別で行ったが、話し合いの後で別の班への移動を許した。動いた児童は、M子一人であった。以下は、M子の感想である。

わたしのはんでは、はたものをつくりたいというひとがおおかったので、ふくろものをつくる一ばんさんにまざることにしました。一ばんさんにきたときやさしくむかえてくれたのでとてもうれしかったです。つくるときは、みんなできょうりよくしてやりました。形を考えたり色をきめたりいろいろなことを考えたりして、つくっていきました。わたしたちは、一人一つのえを書くことにしました
..... 略..... はなびやさんにおもりをつけてもらってうちあげてもらいました。とてもうれしかったです。

② 花火の打ち上げと一日リーダー

花火の打ち上げは、学級の行事として取り組んだ。当日は、6発の昼花火を打ち上げ、班ごとに落ちてくる作品を追いかけた。家庭にも連絡しており、多くの保護者が校庭に見学に来ていた。



（昼花火打ち上げ）

昼花火の打ち上げに際しての開会式、閉会式のあいさつは、消極的なY子にやらせ、自信をつけさせることをねらいとした。

わたしは、お礼のことはをいうときにいっぱいドキドキしました。でも、わたしはすこしおさまりました。そしてお礼のことはになりました。わたしは、おさまたとおもったらいっぱいドキドキしました。それでお礼のことはをいいました。そして、お礼のことはをいいおわってなんかしらないけれどももう一回やりたようなきがしました。でも、もういったことをわすれてしまいました。

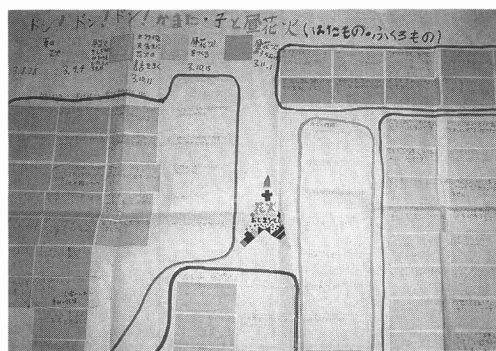
Y子は、この経験がもとになり、11月の学習発表会ではナレーターに立候補するまでになった。

学習発表会後の感想文では、機会があればまた代表になりたいという気持ちを書いている。

一日リーダーの経験がY子に変容をもたらしたと考えられる。

③ 自分の成長がわかる記録

花火に対するイメージと感想をカードに思いつくだけ書かせた。この記録は、イメージマップの手法を応用したものであるが、2年生では、自分でカードを分類できないので、教師が行い一人分を1枚の模造紙にはった。



（R男の感想カード）

以下の資料は、R男が書いた3回の感想を簡単に要約したものである。

8/25 花火大会後 カードの合計 10枚

| | | |
|-------|-------------|----|
| 花火の名前 | しだれ、しかけ、 | 4枚 |
| | ロケット、せんこう | |
| 花火の印象 | きれい、すごい、楽しい | 3枚 |